

加西市ふるさとミーティング2021秋 地域課題及び要望事項 回答書 下里地区

開催日: 令和3年11月2日(火) 場所: 善防公民館

	項目名	内 容	地区・場所	担 当	回 答
1	交通安全について	市道・剣坂一野条線が町の中央部を東西に横断しているため、町が南北に二分されている。近年交通量が多くなり、朝夕の通勤時間帯は特に多く、スピードも速いので児童の通学時の横断もままならない状況です。いつ大事故が起こらないか心配です。安全、安心に通学、日常生活が送れる様何か良い施策等が有りませんか。 また、安全啓発看板設置等出来ないか？	中西北町	総務部	ご指摘の場所については、見通しの良い直線道路であり、安全対策としては、横断歩道の設置や速度規制が考えられます。 しかしながら、令和元年に、中西北町公民館前の横断歩道と尾崎町156番地の横断歩道の間に新たに横断歩道の設置を加西警察交通課と協議しましたが、兵庫県警本部から距離が短く設置不可、速度規制についても現行40キロであり、これ以上の速度規制は出来ないとのことでした。 この度の要望を受けて、改めて警察に要望(10月22日に市長名で要望提出済み)するとともに、警察のパトカーと危機管理課の青パトによる見回り強化を実施したいと思います。 安全啓発看板設置についてはご提案として検討いたします。 (追記) 令和4年1月26日付けで、加西市警察署より「直近に横断歩道が設置されているため、横断歩道の設置は不可」と回答がありました。
2	池の修繕について	奥の池の漏水については自治会対応でその都度応急修理しているが完全に止水出来ていない状態です。将来、漏水が酷くなり大掛かりな工事になると費用負担も大きく心配です。何か良い方法は無いですか。 専門的な修繕方法を指導してほしいです。	中西北町 奥の池	地域振興部	初夏に一度立会をさせていただきました。漏水が減少または無くなる水位がありますので、今秋～冬にかけて漏水量をみながら水位を下げていただき、再度農林整備課へご連絡ください。現地立会・調査を行いたいと思います。また大規模な改修となりますと地元負担の軽減から国庫事業の検討が必要であると考えています。 修繕方法としては、池の堤体自体の漏水なのか、樋管からの漏水なのか現地確認を行います。また、県の専門組織としてため池サポートセンターもあるので連携を図って対応したい。
3	町内放送の無線システムへの移行(工区内においても設置済みの町あり)	住民の生活スタイルの多様化に伴い、現在の有線放送ではすべてカバーするのが不十分であり、防災や独居老人の見守りの観点からも無線システムの導入が急がれます。市主導で複数町での運用の構築や補助金制度の検討をお願いしたい。 また、市のLINEによる防災等の情報は取得可能であるが、今後どう展開していくのか。	大村町	総務部	市内の現状としては、多くの自治会においてコミュニティ無線や有線放送による連絡網を構築されています。 加西市では、近年の豪雨災害が多発している状況等を鑑み、市内全域をカバーする防災無線の整備を予定しております。 具体的には、令和2年度に市内全域の基本設計を実施し、令和3～7年度の5カ年計画で整備していきたいと考えております。 防災無線という趣旨と、受信機の設置を検討するだけではなく、スマホの活用や既存設備の活用も検討することで、できる限り住民の皆さまのご負担の少ない方法で導入してまいります。

4	各種助成金・補助金 の見直しについて	・公共財の更新、修繕等に関する各種補助金の水準が、現在の町財政規模からすると、実行することに二の足を踏んでいます。緊急性の高いものには見直しをお願いしたい。 ・消防自動車の更新についても地元負担が大きい。近隣市の補助金の状況は？ ・はつらつ委員会で高齢者をボランティアで送迎している(はつらつツアー)が、市からの補助はないか？	牛居町	総務部 ふるさと創造部 ■総務部 平成30年度から令和元年度にかけて、「加西市消防団あり方検討委員会」を開催し、装備・資機材の地元負担の軽減を図る検討をするよう意見をいただいております。それを受けまして、令和2年度より小型動力ポンプについては全額市負担、装備・資機材等の修繕・更新については事業費上限10万円に対し、地元負担1/2(5万円)から1/3(3.3万円)に軽減しております。 ・消防自動車の近隣市の補助金としては、大きな差はありません ■ふるさと創造部 現在、市では自治会で所有される集会所の①新築・増築、②改修工事、③バリアフリー工事に関する3種類の補助制度を設けており、11月の区長発送において、令和5年度以降に補助を希望する自治会の意向調査を実施しておりますので、自治会内で協議のうえ、ご活用をいただきますようお願いいたします。 なお、補助金の水準につきましては、今後、近隣自治体の状況も参考にしながら、検討していきたいと考えています。 ・はつらつ委員会の活動については、高齢者の足の確保として住民同士が助け合いの精神で大変良い活動をされております。道路法の制限があるので、市としても公共交通ではなくボランティア活動として支援していきたいと思っております。
---	-----------------------	--	-----	--